

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	070 民間企業との包括連携協定									
予算科目	01-020108-20 S D G s 推進に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部持続可能都市戦			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	-					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよ			

事業の概要

対象	民間企業									
目的	市政推進のために市と民間企業との役割を明記した協定を締結することで、官民連携を推進し市民サービスの向上を図る。									
概要 (取組内容)	全庁横断的な施策等における連携を推進するため、連携事項を調整し、相互の役割を明記した協定書を取り交わす。また、協定の締結後は、相互の提案により連携を推進する。 ※令和5年度から、企画経営課から持続可能都市戦略室に移管して実施									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2	5	0	13	13	
	決算額	(千円)	7	0	52	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	0	52	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 196	2, 141	3, 479	3, 479	3, 479	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 30	0. 30	0. 50	0. 50	0. 50
		正職員時間外勤務	(時間)	60. 00	40. 00	10. 00	10. 00	10. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
	実 績	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市の課題解決につながる効果的な連携協定を締結することを目的として、既存の協定の棚おろし作業を行った。
成果		令和５年度中に、新たに５件の包括連携協定を締結した。
課題	業務	包括連携協定の締結に至ったものの、その後に連携事例を生み出せていないものがある。
	組織、予算等	
改善目標		包括連携協定を締結する意義を明確にし、協定の締結後も継続的に連携を図れるように業務改善を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	084 つくばSDGsパートナー講座											
予算科目	01-020108-20					S D G s 推進に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部持続可能都市戦
市長公約	8											
戦略プラン	I-1	4	1	つくばS D G s パートナー講座							新規・継続	継続
											事業分類	自治事務（任意）
											事業体制	一部委託
個別計画											事業期間	毎年度
根拠法令等											SDGs	11住み続けられるまちづくりを
	17パートナーシップで目標を達成しよう											

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者									
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みを構築していく。									
概要 (取組内容)	課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していく「つくばS D G s パートナーズ」を認定するため、つくばS D G s パートナー講座を開催する。 講座では、S D G s の17ゴールに関する取組について、学識経験者やN P O等の市民活動団体等からの講義を受け、自らが活動していくためのきっかけづくりを行っていく。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	329	412	412	494	494	
	決算額	(千円)	281	348	416	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	281	138	416	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	210	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4, 183	4, 184	2, 860	2, 860	2, 860	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 60	0. 60	0. 40	0. 40	0. 40
		正職員時間外勤務	(時間)	34. 00	40. 00	40. 00	40. 00	40. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市広報紙、ホームページやつくスマでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	アンケート、ホームページでの情報発信
評価、検証	講座終了後の参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	つくばSDGsパートナー講座の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	6.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	3.0	4.0	4.0	4.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) パートナーズ個人会員を認定するためのパートナー講座の開催回数を指標にすることで、個別施策の母数となるパートナーズ個人会員数の増加を図る。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		オンライン形式に加えて対面形式やハイブリッド形式（オンラインと対面の併用）の講座を実施することで、自宅などから気軽に受講できる環境を残しつつ、交流を希望する受講者のニーズを満たすことを目指した。
成果		全4回の講座を実施した。実施形式の内訳は、オンライン形式が2回、対面形式が1回、ハイブリッド形式が1回であった。 令和5年度は、つくばSDGsパートナーズ個人会員を新たに42名認定した。
課題	業務	ハイブリッド形式で実施した際に、オンラインでの受講者が多数を占めたことから、本講座に対しては、交流よりも知識の獲得に関するニーズが高いとわかったため、適切な実施形式を再検討する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		受講生及び個人会員の新規認定数を増やすため、適切な実施形式を検討した上で、講座を実施する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	085 社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」事業									
予算科目	01-020108-20		S D G s 推進に要する経費					担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦	
市長公約	8						係名			
戦略プラン	I-1	4	2	社会課題解決ワークショップ				新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	一部委託	
個別計画								事業期間	毎年度	
根拠法令等								SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
	17パートナーシップで目標を達成しよう									

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者									
目的	本市が持続可能都市を実現させるに当たり、現在の社会全体の意識を変え、企業や個人等を巻き込み、各々が行動を変えていく仕組みを構築していく。									
概要 (取組内容)	ワークショップを開催し、様々なステークホルダーとの対話を繰り返すことで、本市の課題を自ら見つけ、その解決策を検討し、実行に移していくことを目指す。 ワークショップの中では、これから活動を始めるに当たって参考となる有識者からの講演や本市におけるSDGsの様々な取組を市内外に発信し、SDGsの推進に向けた波及効果を目指す。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	4,346	4,379	4,727	8,989	8,989	
	決算額	(千円)	4,309	4,355	4,697	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9	65	197	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	4,300	4,290	4,500	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,944	4,321	4,363	5,054	5,054	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.60	0.60	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	45.00	96.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、つくスマやSNSでの情報発信									
企画・立案、計画	-									
実行	ホームページでの情報発信、発表会・パネルディスカッションの開催									
評価、検証	各ワークショップ・イベント終了後の参加者アンケート									

指標の推移

1	指標名	ワークショップにより実施された活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	2.0	4.0	5.0	5.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-④SDGs普及による市民活動の促進) 本指標値を増加させることによって、個別施策の指標に掲げる「社会課題の取組に参加している割合」の増加を図る。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		委託業者とともに、各チームとの対話を繰り返しながら、各チームの自主性を損なうことなく、実現可能な規模のアクションを実行させた。
成果		4回のワークショップを通して、5つのチームが前年度から検討してきたアクションの準備を進め、実行に移した。また、その振り返りや先駆者からの助言を通して、参加者の意欲向上に努めた。2月に開催したつくばSDGsパートナーズ会員交流会では各チームが最終報告を行い、「活動の参考にしたい」「イベントに参加したい」など関心を持つ参加者が複数出た。（満足度は、5点満点中、4.57点であった。）
課題	業務	新規事業の立ち上げ支援を目的としてワークショップを行ってきたが、参加者の負担が大きく、途中で参加を断念する方が複数人出たことが課題であった。
	組織、予算等	
改善目標		事業の対象者が行動を変えていく仕組みづくりとして、新規事業立ち上げのワークショップが適切であったかを検証し、取組内容の改善を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	令和4年度及び5年度は2年間かけてワークショップを実施したが、長期に渡る活動への負担と意欲の低下から参加者の離脱を招いた。令和6年度は単年度で2年間分のワークショップ実施回数相当を確保する事業計画とし、集中的に人材育成を図るため、委託料の予算額を増額した。	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	069 アイラブつくばまちづくり事業											
予算科目	01-020108-12		アイラブつくばまちづくりに要する経					担当部課 係名	政策イノベーション部持続可能都市戦			
市長公約	7-1											
戦略プラン	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化					新規・継続	継続		
									事業分類	自治事務（任意）		
									事業体制	一部委託		
個別計画								事業期間	毎年度			
								SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ			
根拠法令等	つくば市まちづくり寄附規則											

事業の概要

対象	市民、事業者、市外在住者									
目的	いただいた寄附を市民のまちづくりに関する事業に活用することで、市民協働の活性化にも貢献する。返礼品を通じて観光や物産など市の魅力を発信する。									
概要 (取組内容)	ふるさと納税専用サイト等による寄附金を受け付けるとともに、寄附に対する返礼品を送付することで、寄附者との関係づくりを図る。併せて市の特徴的な返礼品開発を進める。 また、寄附金を活用した事業について、寄附金額や件数等の活用状況を明らかにすることで、使途の見える化を図り、共感を得ていくことで一層の寄附を募る。 さらに、一定金額以上の寄附をした寄附者の表彰を行うことで、寄附者に広く感謝の意を表す。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	63,782	174,799	171,826	290,749	290,749
	決算額	(千円)	95,930	78,557	81,261	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	892	557	1	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	95,038	78,000	81,260	0
人件費	人件費計	(千円)	10,432	8,784	7,271	7,271	7,271
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.45	1.20	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	215.00	250.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNS等での情報発信
企画・立案、計画	-
実行	市広報紙での情報発信
評価、検証	アイラブつくばまちづくり表彰式・フォーラムを開催し、寄附の使い道等を広く周知する。

指標の推移

1	指標名	ふるさと納税の年間寄附件数 (件)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,800.0	3,500.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0
	実績	7,761.0	9,518.0	10,426.0	9,110.0	9,171.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-4-①市内外へ向けたPRの推進) 年間寄附件数を増やすとともに、リピーターを増やし、個別施策の指標である年間寄附人数の増加に寄与させる。【実績値は、各年度の2月末までの暫定値】					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		寄附受付後に即時で受け取れる返礼品としてQRコードやバーコードで決済可能な電子商品券を導入した。
成果		電子商品券の導入など、返礼品の種類を増やしたことで、前年度より寄附額が向上した。また、ポータルサイトでの寄附受付後に、返礼品の発注・配送や証明書の発行・発送などを行う中間事業者を見直すため、公募型プロポーザル方式の審査を行い、新たな中間事業者を選定した。
課題	業務	寄附者の利便性向上のため、全てのポータルサイトでオンラインのワンストップ特例申請に対応できるシステムを導入する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		返礼品の新規開拓、ポータルサイトの画像やメッセージの更新等を行い、寄附額の向上に努める。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	新たな中間事業者と契約し寄附額の向上を図るため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	059 S D G s 未来都市事業									
予算科目	01-020108-20 S D G s 推進に要する経費					担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦			
市長公約	8		77-1			係名				
戦略プラン	IV-1	1	2	S D G s パートナーズ（団体会員）の推進			新規・継続	継続		
	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市 S D G s 未来都市計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							12つくる責任つかう責任			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民、市内に在勤・在学する者、事業者									
目的	社会・経済・環境の3側面を重視した優先的なゴールとKPIを設定した「つくば市 S D G s 未来都市計画」を推進することで、持続可能都市ヴィジョン及び持続可能都市宣言に掲げる都市像の実現を目指す。									
概要 (取組内容)	地域の課題解決や活性化に貢献し、持続可能なまちづくりを進めていく人材が育つ環境づくりを行うため、つくば市 S D G s 未来都市計画の進行管理を行う。 また、つくば S D G s パートナーズを通して、団体会員同士の連携を促進するとともに、食品ロス等の S D G s に関する課題解決を図る。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	217	184	276	773	773	
	決算額	(千円)	86	114	29	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	86	114	29	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,158	3,528	3,503	2,812	2,812	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.50	0.50	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	34.00	50.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市広報紙での食品ロスの周知
企画・立案、計画	-
実行	ホームページやSNS等での情報発信（パートナーズ団体会員イベント情報/食品ロス）
評価、検証	アンケート等

指標の推移

1	指標名	食品ロス削減に向けた広報、講座、イベント等での周知回数（回）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	3.0	3.0	4.0	3.0	0.0
	指標の概要	（個別施策IV-4-①市食品ロス削減に向けた意識啓発）食品ロスに関して学ぶ環境教育に取り組むとともに、市民に食品ロス削減に対する意識の醸成を図る。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		食品ロス削減に向けて、県及び関係部署と連携し、周知活動を実施した。
成果		つくば市SDG s 未来都市計画の期間が満了し、今後は、つくば市未来構想・第2期つくば市戦略プランにより、SDG s 推進の進行管理を行うことを決定した。
課題	業務	市民意識調査からSDG s が市民に普及したことが明らかであるため、今後は具体的な課題解決につなげていく事業を検討する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		つくばSDG s パートナーズを通して、団体会員同士の連携を促進しながら、好事例の創出を目指す。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-